

令和8年度 北栄中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：33002

実態	「学ぶ力」	
	成 果	課 題
	◇共通指標アンケートで、「分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている」の項目の肯定的な回答が、今年も8割を超えている。 ◇共通指標アンケートで、「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある」の項目の肯定的な回答が約9割と、高い値を示している。 ◇学校評価アンケートの生徒アンケートで、「授業で『意欲的に参加できた』と思えることがある」の項目の達成率が78.6%と高い値を示している。	◇共通指標アンケートで、「自分の意見を進んで発言しようとしている」の項目の肯定的な回答が、今年も約6割となっている。 ◇共通指標アンケートで、「1日の時間の使い方を自分で考えて生活している」の項目の肯定的な回答が、昨年度の66.1%から58.1%へ下がっている。 ◇学校評価アンケートの生徒アンケートで「家庭において、計画的に学習に取り組むことができていく」の項目の達成率が59.7%と低い値となっている。
	「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	◇共通指標アンケートで、「自分が必要とされていると感じる」等の相互承認に関連する項目について、昨年度の66.8%から今年度は77.2%へと向上している。「人の役に立ててうれしいと感じることがある」や「人の役に立つ人間になりたいと思う」の項目は昨年度に引き続き9割以上と高い傾向にある。 ◇生徒同士による各行事後の相互評価の場を設定していることが、自己肯定感の高まりに寄与していると考えられ、引き続き、自分に自信をもてるような場や価値付けが重要と思われる。	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力		
自ら学び、互いに認め合い・支え合い・高め合う力		
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	(1)研究主題「全員が学習に向き合うための効果的なサポートとは」を実現するための取組 →「学習のしおり」の効果的な活用、効果的な家庭学習の方法の提示 →「家庭におけるスマホの使い方」について考えさせる道徳の実施 (2)学びに「見通し」を持たせ、主体的に学習に取り組める工夫 (3)スプレッドシートやオクリンクを活用した主体的・対話的で深い学びをもたらす授業の推進 (4)振り返りシート等を活用した学習の取組の「振り返り」	①「北栄の『幸せ返し憲法』」を活用した生徒会の取組 1. あいさつで気持ちを伝えよう 2. 悪口は褒め言葉に変えてみて 3. 人も物も大切に 4. 人に優しく自分にもっと優しく 5. 心に寄り添い幸せを届けよう ②昼の放送の「生徒会番組『聖徳太子の部屋』」での啓蒙活動 ③清掃ボランティアや除雪ボランティアなどボランティア活動の充実
	「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
	◇(1)について、家庭におけるスマホの正しい使い方を考えさせ、自己のタイムマネジメント能力の向上につなげる。 ◇(2)について、学びポケットなどの活用を促進するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫を進める。 ◇(3)について、教師のICTの研修を進めて、授業でスプレッドシートやオクリンク等を活用し、主体的・対話的で深い学びをもたらす授業を構築する。 ◇(2)について、昼の放送「聖徳太子の部屋」に向けたアンケートを、クロムブックのクラスルーム等を活用して集約する。	

<本プログラムの実行に向けて>

新年度	【一人一人の教職員】	【学校全体】	次年度へ
◇本プログラム共有 ・職員会議（4月17日） ・学校説明会（4月24日） ・札教研春の研究集会（6月9日）	◇日常の授業・教育活動 ◇「学習のしおり」の取組のサポート ◇生徒会の取組のサポート ◇各自の研修…札教研、年次研修等	◇スマホの使い方に関する道徳 4月中 ◇校内研修会（5月1日、10月19日） ◇子どもの育ちの共有 ・学年部会、パートナー校研修	◇学校評価 ◇成果と課題の共有 ・校内研修会（2月12日） ・学年部会、校務部会